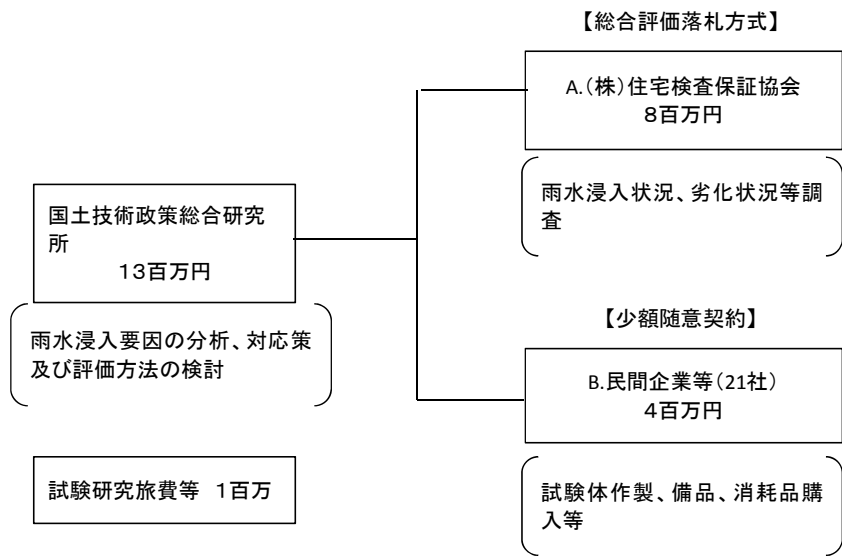


行政事業レビューシート (国土交通省)						
予算事業名	小規模建築物の雨水浸入要因とその防止策に関する研究		事業開始年度	平成21年度	作成責任者	
担当部局庁	国土技術政策総合研究所		担当課室	建築研究部	建築新技術研究官 向井昭義	
会計区分	一般会計		上位政策	技術研究開発の推進		
根拠法令 (具体的な条項も記載)	住宅瑕疵担保履行法第6条第2項第3号 (保証金の支払いに係る国土交通大臣の確認)		関係する計画、通知等	第3期科学技術基本計画 (H18.3閣議決定) 国土交通省技術基本計画 (H20.4)		
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	小規模建築物(戸建住宅等)を対象とした雨水浸入防止対策と評価技術を開発し、小規模建築物の長期的な安全性の確保及び平成21年10月に完全施行された住宅瑕疵担保履行法等の円滑な運用に資する。					
事業概要 (5行程度以内。別添可)	小規模建築物を対象として、主に劣化等による外装部位からの雨水浸入のメカニズムや要因を明らかにし、将来の技術基準化に向けた防止策の検討を行う。 近年、雨水の浸入を防止する部分の保証事故が増えており、防水に関わる保証事故件数の割合が全体の約2/3となっている。 (※本事業は、民主党マニフェスト「44. 環境に優しく、質の高い住宅の普及を促進する」、政策INDEX「国土交通/安心取引で中古・リフォーム・賃貸市場を活性化」に関連する。)					
実施状況	本事業(技術開発)は、平成21年度から平成23年度の3ヶ年で実施する。 平成21年度は、以下の主な調査をもとに各種仕様における雨水浸入要因の分析等を行った。 ①各地域別の戸建て住宅の外装構法(生産・供給状況、施工状況、外装の仕様)に関するアンケート調査 ②全国の戸建木造住宅24棟を対象として、地域別や各部位別の雨水浸入状況等の調査 ③解体予定の戸建木造住宅4棟を対象として、雨水浸入要因と構成材の劣化状況等に関する詳細調査					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	-	-	14	12	12
	執行額	-	-	13		
	執行率	-	-	97.0%		
	総事業費(執行ベース)	-	-	-		
自己点検	支出先・使途の把握水準・状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>支出先(業務請負者)選定の妥当性については第三者機関である技術提案評価審査会により審議していただいている。</li> <li>業務の主たる部分に係る再委託は禁止されているところであるが、主たる部分以外の再委託については、軽微なもの(コピー、印刷、製本、資料の収集・単純な集計、翻訳、データ入力、計算処理、トレース、模型作成等)を除き、再委託承認申請書を求めている。支出先・使途を確認している。(本事業においては、再委託承認申請書を要する再委託はない)</li> <li>支出の効果については、業務打ち合わせ及び納品後の検査を通じて、成果水準を的確に把握している(本事業については、当初の目的を達成する成果が得られている)。</li> <li>進捗状況に合わせて随時打ち合わせを行うことにより、進捗管理を適切に行い、事業内容の精度・深度を十分に深めている。</li> </ul>				
	見直しの余地	<ul style="list-style-type: none"> <li>支出先については、総合評価方式により公募を実施し、競争性の確保に努めており、今後も競争性の確保に努めるものとする。</li> <li>業務発注を計画するにあたっては、あらかじめ検討項目、調査対象範囲等について十分検討を行い、効率的な執行に努めているところではあるが、簡易な調査等について別途業務として一般競争入札の採用を検討するなど、よりいっそうの効率化に努めるものとする。</li> </ul>				
チームの効率化	<ul style="list-style-type: none"> <li>【一部改善】</li> <li>研究成果が国土交通行政に活かされているのか等、事業効果の検証を行う。また、発注に当たってはコストを精査の上縮減を図るとともに、競争性・透明性の高い発注先の選定方式の導入を図る。</li> </ul>					
補記	<p>【予算科目】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・133 技術研究開発推進費</li> <li>・13 科学技術振興費 (21年度予算額) (21年度決算見込額)</li> <li>・13054-2122-08 試験研究旅費 1百万円 0.3百万円</li> <li>・13054-2123-09 試験研究費 13百万円 13百万円</li> </ul> <p>※四捨五入しているため、合計値があわない場合がある。</p>					

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
(単位:百万円)



費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。使途と費目の双方で実情が分かるように記載)

A.(株)住宅検査保証協会			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	諸経費	3.0			
その他	業務担当者人件費(小規模住宅の雨水浸入状況及びその要因に関する検討)	2.5			
その他	技術経費	1.7			
その他	直接経費、消費税	0.7			
計		7.9	計		0
B.民間企業等21社(百万円未満のため未記載)			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

**【別紙】**

B.民間企業(21社) 4百万円		
No.	支出先	金額 (百万円)
1	(株)にのみや工務店(2件合計分)	1.9
2	(有)ムラキツール	0.6
3	関彰商事(株)	0.5
4	(株)東京測器研究所	0.4
5	日本木材学会	0.1
6	(株)ウィザード	0.06
7	(株)藤原製作所つくば営業所	0.06
8	郵便事業(株)	0.05
9	リコー販売(株)	0.04
10	(株)三省堂書店	0.02